

遠隔監視システム PJ1H-E3A1 施工マニュアル 遠隔監視システム施工編

2016/2/15

本マニュアルでは、遠隔監視システムの施工についてご説明させていただきます。
施工上の条件や詳細な注意事項等につきましては、ご使用になるパワーコンディショナの施工マニュアル及びモニタリングシステムの施工マニュアルを参照してください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。

	警告	取扱を誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
	注意	取扱を誤った場合、人が重傷を負うか物的損害が発生する恐れがあります。

本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです

	禁止		分解禁止		感電注意
	指示を守る		接地線を接続する		

	警告	感電のおそれがあります。ブレーカをオフにした状態で配線作業を行ってください。配線後、端子台カバーをつけてください。
		指定された環境以外に設置しないでください。火災、感電、漏電、故障のおそれがあります。
		遠隔監視システムの重さに耐えられない場所に設置しないでください。落下・破損の原因になります。設置の詳細は同梱しています「日東工業 キー付耐候ブラボックス OPK-A 取扱説明書」の「施工上の注意」に記載されています。
		遠隔監視システムを振動・衝撃が加わる場所に設置しないでください。落下・破損の原因になります。
		端子台に接続するケーブルは指定したトルクで締め付けてください。火災・故障の原因になります。
		配線くずが遠隔監視システム内に付着、または混入しないように配線を行ってください。火災・故障の原因になります。

	注意	遠隔監視システムを落とすまたは、強い衝撃を与えると故障・破損の原因となります。
		遠隔監視システムを潮風にさらされる場所(塩害地域、重塩害地域)には設置しないでください。故障の原因になります。
		筐体に有機溶剤、油、薬品がかかる場所での使用、もしくは雰囲気中での使用、腐食性ガスの雰囲気中での使用は筐体の破損・故障の原因になります。
		遠隔監視システムを直射日光の当たる場所への設置はしないでください。故障・破損の原因になります。
		遠隔監視システムの設置場所の電波状況が安定している事を事前に確認してから施工を行ってください。

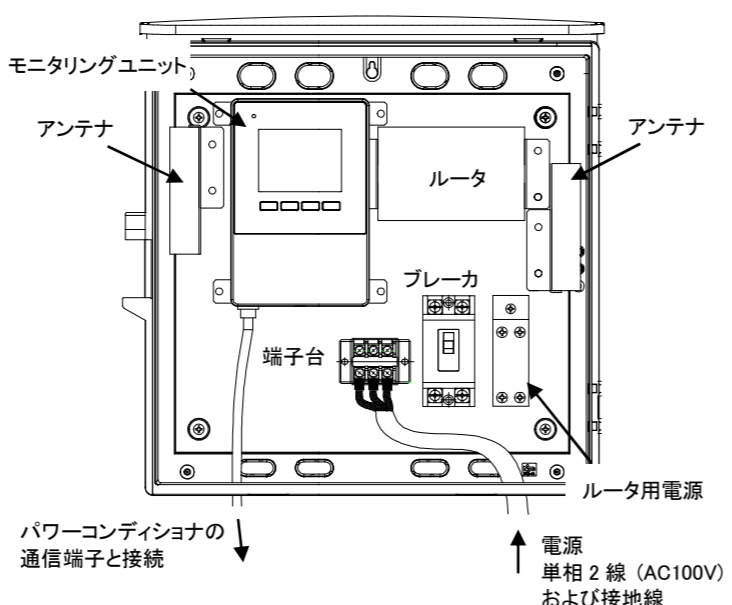
	ロックアウト部(配線引き込み部)はパテなどを用いて防水処理をしてください。雨などが侵入し、故障の原因になります。
	ロックアウト加工後にバリ、突起をやすりなどで除去してください。配線の損傷、けがの原因になります。
	接地端子に必ず接地線を接続してください。
	内部機器の分解・改造は内部機器の故障の原因となりますのでおやめください。
	アンテナの交換は電波法に違反する行為となりますのでおやめください。
	本製品を廃棄する場合には、地方自治体の条例に従ってください。

同梱部品の確認

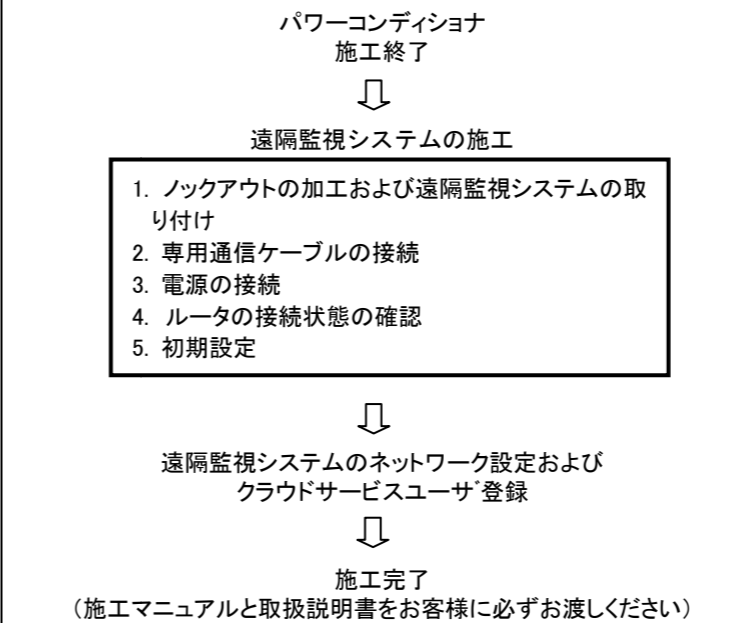
梱包箱の中に以下の物が揃っていることを確認してください。

品目	数量	品目	数量
遠隔監視システム	1台	HEMSコントローラ/モニタリングユニット(ネットワークタイプ) ・施工マニュアル ・取扱説明書	各1部
日東工業 キー付耐候ブラボックス OPK-A 取扱説明書	1部	鍵	1個
遠隔監視システム施工マニュアル ・遠隔監視システム施工編(本書) ・遠隔監視システムネットワーク編			各1部

遠隔監視システム内部



施工の流れ



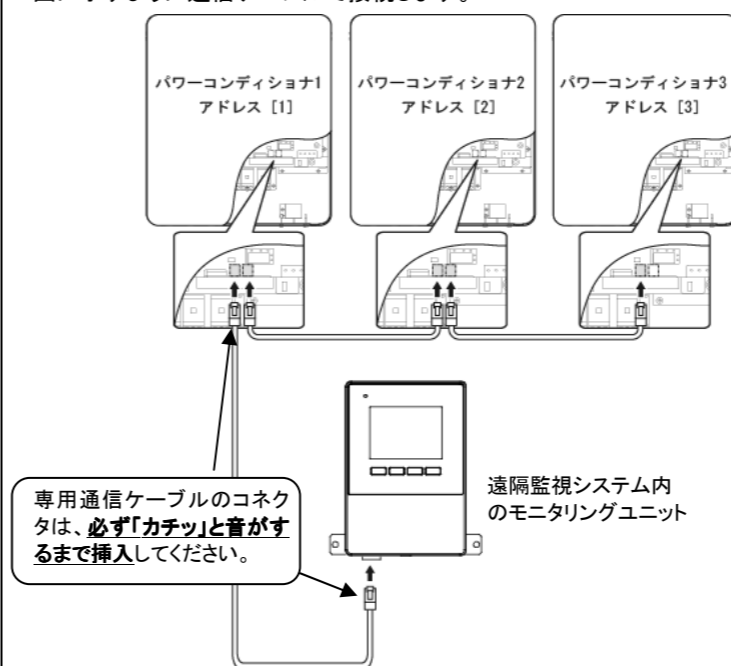
遠隔監視システムの施工

1. ノックアウトの加工および遠隔監視システムの設置

本製品に同梱されている「日東工業 キー付耐候ブラボックス OPK-A 取扱説明書」の手順に従い、遠隔監視システムの底面、または背面のノックアウトを取り除いてください。また、同書に従い、遠隔監視システムの取り付けをしてください。

2. 専用通信ケーブルの配線

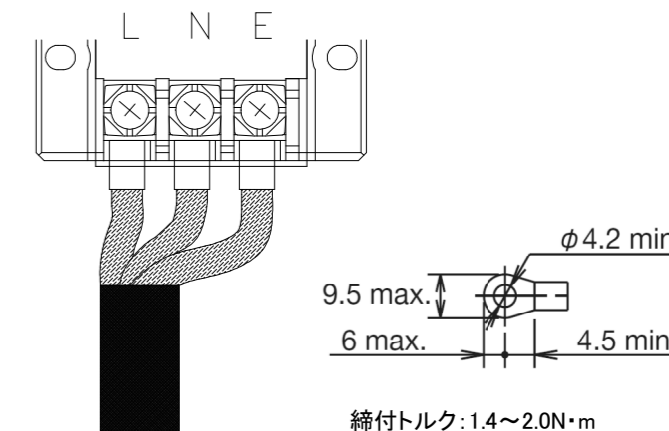
遠隔監視システム内のモニタリングユニットとパワーコンディショナを下図に示すように通信ケーブルで接続します。



※モニタリングユニットは、1台で最大13台のIDEC製パワーコンディショナと通信できます。
※専用通信ケーブル(LANストレートケーブル カテゴリ5e以上)は施工業者様にてご用意ください。
※専用通信ケーブルはロックアウトを通してモニタリングユニットに接続してください。

3. 電源・接地線の接続

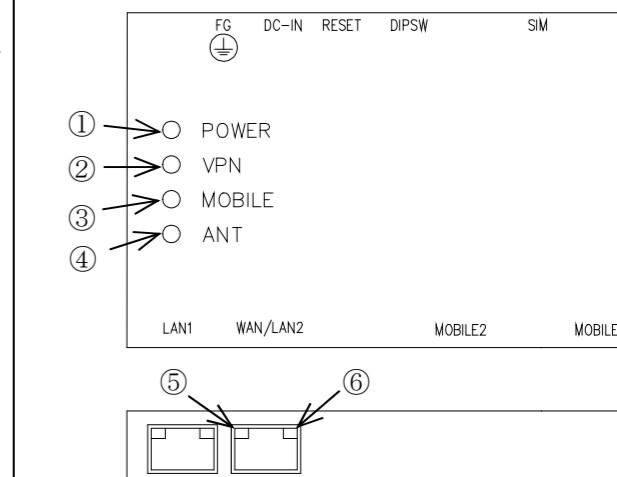
端子台に単相2線(AC100V)および接地線を接続してください。端子台の接続は、以下の圧着端子を使用してください。また、圧着端子には絶縁被覆を装着してください。



4. ルータの接続状態の確認

遠隔監視システム内のブレーカをONにします。下図のようにPOWER、MOBILE、ANTのランプが点灯しているのを確認し、初期設定を行います。

※ブレーカON時はPOWERランプが点滅し、内部システムが立ち上がり点灯状態になります。
※ダイヤルアップ接続が確立するとMOBILEランプが点灯します。
※ANTランプは電波強度を表します。



No.	名称	機能
①	POWER ランプ	ルータの通電状態を表示します。
②	VPN ランプ	VPNセッションの状態を表示します。
③	MOBILE ランプ	モバイル通信端末の動作状態を表示します。
④	ANT ランプ	電波状態を表示します。
⑤	LAN ランプ(黄)	ルータとモニタリングユニットの接続状態を表示します。
⑥	LAN ランプ(緑)	

ランプの状態について

ランプ状態	説明
消灯	消灯状態が続く状態です。
点灯	点灯状態が続く状態です。
点滅	点灯と消灯を繰り返す状態です。
早い点滅	点滅より速く点灯と消灯を繰り返す状態です。
遅い点滅	消灯状態から4秒に1回点滅します。
2回点滅	2回素早く点滅後に消灯を繰り返す状態です。

ランプ点灯・点滅パターン一覧

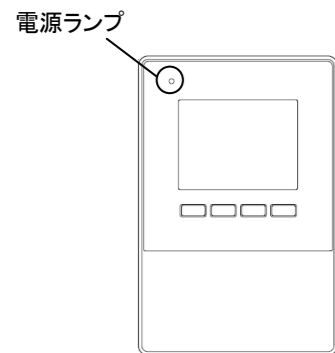
名称	ランプ状態	説明
POWER	点灯	電源が入っていて、使用可能な状態です。
	点滅	起動中、またはおやすみモードへの移行中です。
	遅い点滅	おやすみモード中です。
	消灯	電源が入っていません。
VPN	早い点滅	VPN接続が確立され、データ通信が行われている状態です。
	点灯	VPN接続が確立された状態です。
	消灯	VPN接続が行われていません。
MOBILE	早い点滅	ダイヤルアップ接続で、データ通信が行われている状態です。
	点滅	電話をかけている状態です。
	点灯	ダイヤルアップ接続が確立された状態です。
	消灯	ダイヤルアップ接続が行われていません。
ANT	点灯	モバイル通信圏内(電波強度:強)
	2回点滅	モバイル通信圏内(電波強度:やや弱い)
	点滅	モバイル通信圏内(電波強度:弱)
	消灯	モバイル通信圏外
LAN(緑)	早い点滅	データが流れています。
	点灯	リンクしています。
	消灯	リンクしていません。
LAN(黄)	点灯	100Base-TXでリンクしています。
	消灯	リンクしていません。

※ANT ランプが消灯したままの場合は、通信圏外ですので、遠隔監視システムの設置場所を変えてください。

5. 初期設定

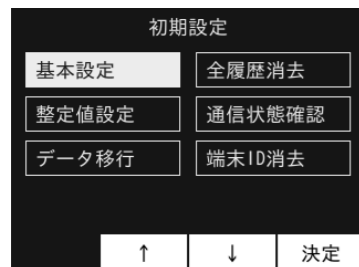
(1) 初期設定の準備

モニタリングユニットの電源ランプが点灯していることを確認してください。



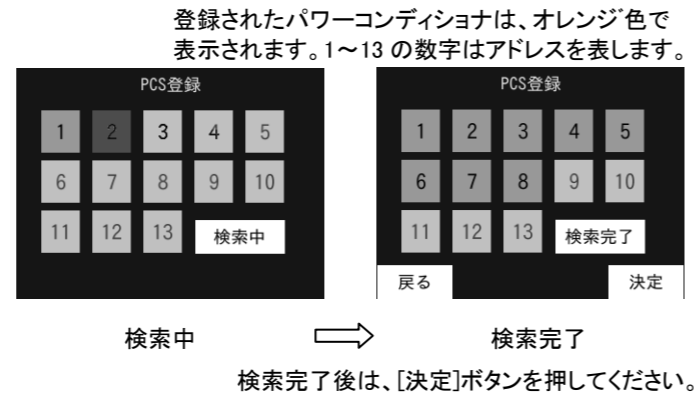
(2) 基本設定

初めて電源を投入すると、以下の画面が表示されますので、「基本設定」を選択して[決定]を押してください。



(3) PCS 登録

PCS 登録画面が表示され、接続されているパワーコンディショナが自動的に登録されます。



※アドレス1から順番に連続してパワーコンディショナの情報が表示されることを確認してください。何も表示されない、1から順番に連続して表示されない場合、配線が正しいことを確認した上でパワーコンディショナ本体の通信アドレスの設定を確認してください。(パワーコンディショナを複数台設置時は通信アドレスの変更が必ず必要となります)

(4) 日付/時刻設定画面

モニタリングユニットの日付/時刻を設定します。
[↑]または[↓]ボタンを押して設定する項目を選択し、[決定]ボタンを押すと、選択していた項目が点滅します。

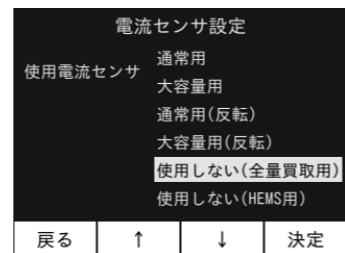


点滅した状態で、[↑]または[↓]ボタンを押して数値を変更し、[決定]ボタンを押してください。
[↑]または[↓]ボタンを押して[登録]を選択し、[決定]を押すと日付/時刻設定が完了します。

(5) 電流センサ設定

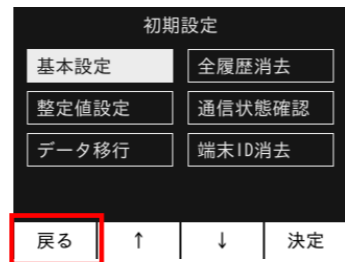
[↑]または[↓]ボタンを押して「使用しない(全量買取用)」を選択してください。

設定後、「決定」を押すと、初期設定画面に戻ります



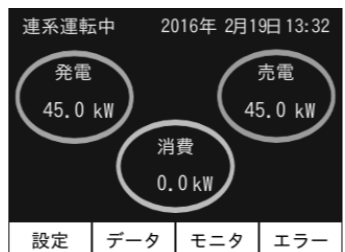
(6) 初期設定画面

初期設定画面が表示されます。基本設定が完了すると、[戻る]ボタンが表示されるようになります。[戻る]ボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。



(7) ホーム画面

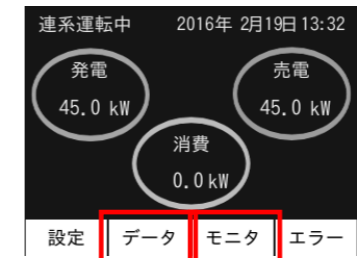
初期設定内の基本設定が完了している場合は、電源を投入すると、このホーム画面が表示されます。



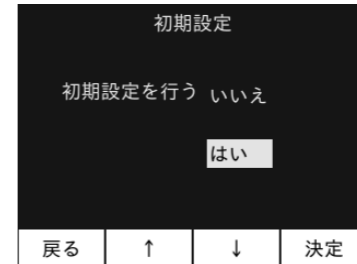
※初期設定(基本設定)の変更方法

初期設定を完了後に、パワーコンディショナを追加または交換した場合には必ず再度初期設定を行う必要があります。以下の手順で再度初期設定を行ってください。

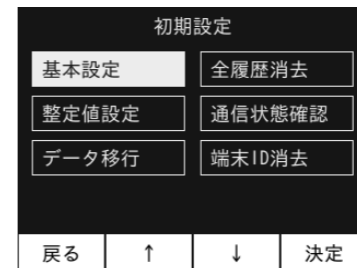
ホーム画面で [データ]ボタンと[モニタ]ボタンを同時に押し続けて3秒以上待ってください。



初期設定を行うかの確認画面が表示されますので、[↑]または[↓]ボタンで「はい」を選択し、[決定]ボタンを押してください。



初期設定画面が表示されますので、[↑]または[↓]ボタンを押して「基本設定」を選択後、[決定]ボタンを押して、設定を行ってください。



遠隔監視システムの施工終了

以上で遠隔監視システムの施工が終了しました。続いて、施工マニュアル(ネットワーク編)を参照して、モニタリングユニットのネットワーク設定及び、ユーザ登録を行ってください。

※施工マニュアル、取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

製品に関するお問合せ

製品に関するお問合せは以下の連絡先までお願いします。

IDEC 株式会社 太陽光発電関連機器ご相談窓口
TEL: 03-5719-5108
受付時間: 9:00 ~ 17:00 (土、日、祝日は除く)

遠隔監視システムの仕様

品名	遠隔監視システム
型式	PJ1H-E3A1
表示	内蔵モニタリングユニットにてLCD表示、LED表示(電源)バックライトオートオフ機能あり(3分)
対応回線	NTT docomo FOMA 網/LTE 網(自動切替)
データ通信	パワーコンディショナ通信: 有線
定格入力電圧	単相2線 100V AC
消費電力(待機電力)	10W 以下
使用温度範囲	-10 ~ 40 °C (氷結なきこと)
使用湿度範囲	25 ~ 85 %RH (結露なきこと)
寸法	425 (W) × 419 (H) × 160 (D) mm
質量	約 5 kg

※「FOMA」は株式会社 NTT ドコモの商標または登録商標です。
※記載しているその他の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。